



だれの子どもも
ころさせない

大変だ、改憲勢力3/4 に！！ 2021年10月総選挙

10月31日に開票された衆議院議員選挙で自公・維新・国民の獲得議席が345となり無所属の改憲派を加えると改憲発議に必要な2/3を大きく超えて3/4となりました。

維新は早速、来年7月の参議院選挙と同時に改憲の国民投票をと言っております。九条を護ることが衆議院では難しいことになりました。

奈良1区は立憲民主党の馬淵澄夫さんが野党一本化候補として小選挙区で勝利したことは立憲野党共闘の成果が出たと評価出来ます。比例区で立憲野党が伸びなかったのは、野党共闘にプラスする戦略が必要かと思えます。

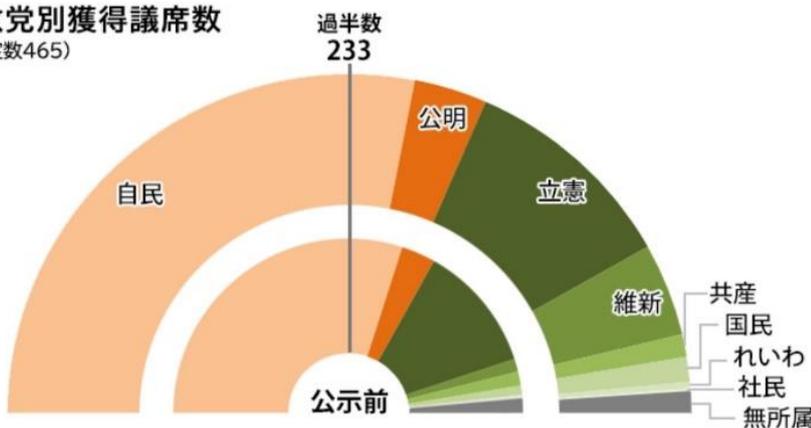
維新の会の声に煽られて憲法審査会が開かざるを得なくなるかもしれませんが、憲法審査会では全会一致になるまで議論を尽くし、決して多数決で憲法審査会での発議しないことにすべきです。

来年の7月末に任期満了を迎える参議院選挙で立憲野党で過半数を獲得するよう野党共闘を進める必要があります。

各党の改憲の考え方は；

自民党	<ul style="list-style-type: none"> ● 自衛隊明記 ● 緊急事態条項 ● 合区解消 ● 教育無償化
公明党	<ul style="list-style-type: none"> ● 憲法でしか解決できない場合「加憲」
維新	<ul style="list-style-type: none"> ● 緊急事態条項 ● 教育無償化
国民	<ul style="list-style-type: none"> ● 「データ基本権」 ● 衆議院解散権の制限 ● 臨時国会召集期間明記
立民	<ul style="list-style-type: none"> ● 自衛隊明記に反対 ● 衆議院解散権の制限
共産	<ul style="list-style-type: none"> ● 自民党改憲案に反対
れいわ	<ul style="list-style-type: none"> ● 緊急事態条項：反対 ● 法改正を優先
社民	<ul style="list-style-type: none"> ● 自民党改憲案に反対 ● 憲法の理念を生かすこと

政党別獲得議席数
(定数465)



憲法改正しなくても、法律作成・改正で済む項目が多いのではないかと思います。

11月9日 15:00~16:00は
「9の日」高の原駅前アクションです。

皆様のご参加をお待ちしています。

	自民	公明	立憲	維新	共産	国民	れいわ	社民	N裁	その他	無所属	計
当選者計	261	32	96	41	10	11	3	1	0	0	10	465
増減	-15	+3	-13	+30	-2	+3	+2	0	-1	-1	-2	
小選挙区	189	9	57	16	1	6	0	1	0	0	10	289
比例代表	72	23	39	25	9	5	3	0	0	0	0	176
女性	20	4	13	4	2	1	1	0	0	0	0	45
公示前	276	29	109	11	12	8	1	1	1	1	12	461
候補者数	338	53	240	96	130	27	21	15	30	23	78	1051

公示前の欠員は4。追加公認を含む。

©2021 政治山 by VOTE FOR

政党名の略称：自民=自由民主党、公明=公明党、立憲=立憲民主党、維新=日本維新の会、共産=日本共産党、国民=国民民主党、れいわ=れいわ新選組、社民=社会民主党、N裁=NHKと裁判する党弁護士法72条違反で、「その他」はその他の政治団体。

憲法論議にまして、「敵基地攻撃能力」の保有を認めることを自民党は目指しています。現状でも、長射程ミサイルの整備・F35B 搭載艦改修と十分に敵基地攻撃能力を保持しています。ミサイル基地の分散化・列車発射ミサイル等で数か所攻撃しても必ず反撃されるミサイル基地が多数残ります。全ミサイル基地・全航空基地・全空母・全潜水艦を一度に破壊せねば意味

が無いのは明らかです。又、敵ミサイル基地探索のための衛星・レーダー網構築に多大の費用がかかり、イージス・アショアの二の舞になるのが落ちだと思われま。周辺国の軍拡競争を促すだけで、「安全保障のジレンマ」に陥ります。これこそ百害あって一利無しの政策だと言わざるを得ません。平和を目指す公明党もこの政策に否定的です。玩具を欲しがると子どものような政策で人心を惑わすことは許せません。(転失気)

日本国憲法押し付け論

現憲法が米国の押し付けであろうと日本の総理大臣の発案であろうと、よいものはよい。もし100%押し付けられた憲法であっても大歓迎、何の支障もありません。先進民主主義国から押し付けられ指導助言をいただいたからこそ、世界に誇る素晴らしい平和憲法になったのだと考えます。国民や兵隊の生命など虫けら同然、一億玉砕してでも天皇制だけを守ろうとした敗戦当時の日本の指導者どもには想像もつかなかったことでしょう。押し付けられたみっともない憲法だから日本人の手で作り替えようという主張は、敗戦で天皇制軍国主義を否定された悔しさを訴えているだけです。

(平城ニュータウン九条の会 杉野)

自衛隊の存在意義と改称案論

日本国憲法のお陰で自衛隊には災害救助以外は出番がなく、暇を持て余して武器や防衛費の使い途に困っているように見えます。明治維新から昭和20年の敗戦まで80年近く、我が国は日清・日露・日中・太平洋など戦争ばかりしていましたが、日本国憲法公布から現在までの75年間は戦争が皆無で武器を使って戦う出番はありませんでした。75年以上も災害救助しか出番が無いのなら、災害救助専門の「消防予備隊」か「防災隊」と改称したら如何でしょう。自衛隊も当初は「警察予備隊」でした。

(平城ニュータウン九条の会 杉野)

11月16日(火) 10:00より生協朱雀店会議室にて **世話人会**です。世話人でなくても、参加していただきご意見・活動等についてお聞かせ下さい。

「9の日アクション」 近鉄高の原駅前
 10月9日は晴れて4ヶ月振りの「9の日アクション」となりました。
 久し振りのトークで、10月31日の衆議院議員選挙投票日に向けて、「憲法9条を守るための選挙にして欲しい」・「今年1月22日に発効した核兵器禁止条約への日本の参加を求める」ことを訴えました。チラシは9月のアクションと同じ「緊急事態条項の危険性」を配布しました。参加者は8名でした。

第14回憲法講座
渡辺 治さんは語る
 日時: 12月15日(水)
 13:30~16:00
 場所: 奈良県文化会館小ホール
 参加費: 500円

発行者: 平城ニュータウン九条の会
 ✉: heijyounewtown9article@gmail.com
 HP: <https://www.nara9jyonet.com>